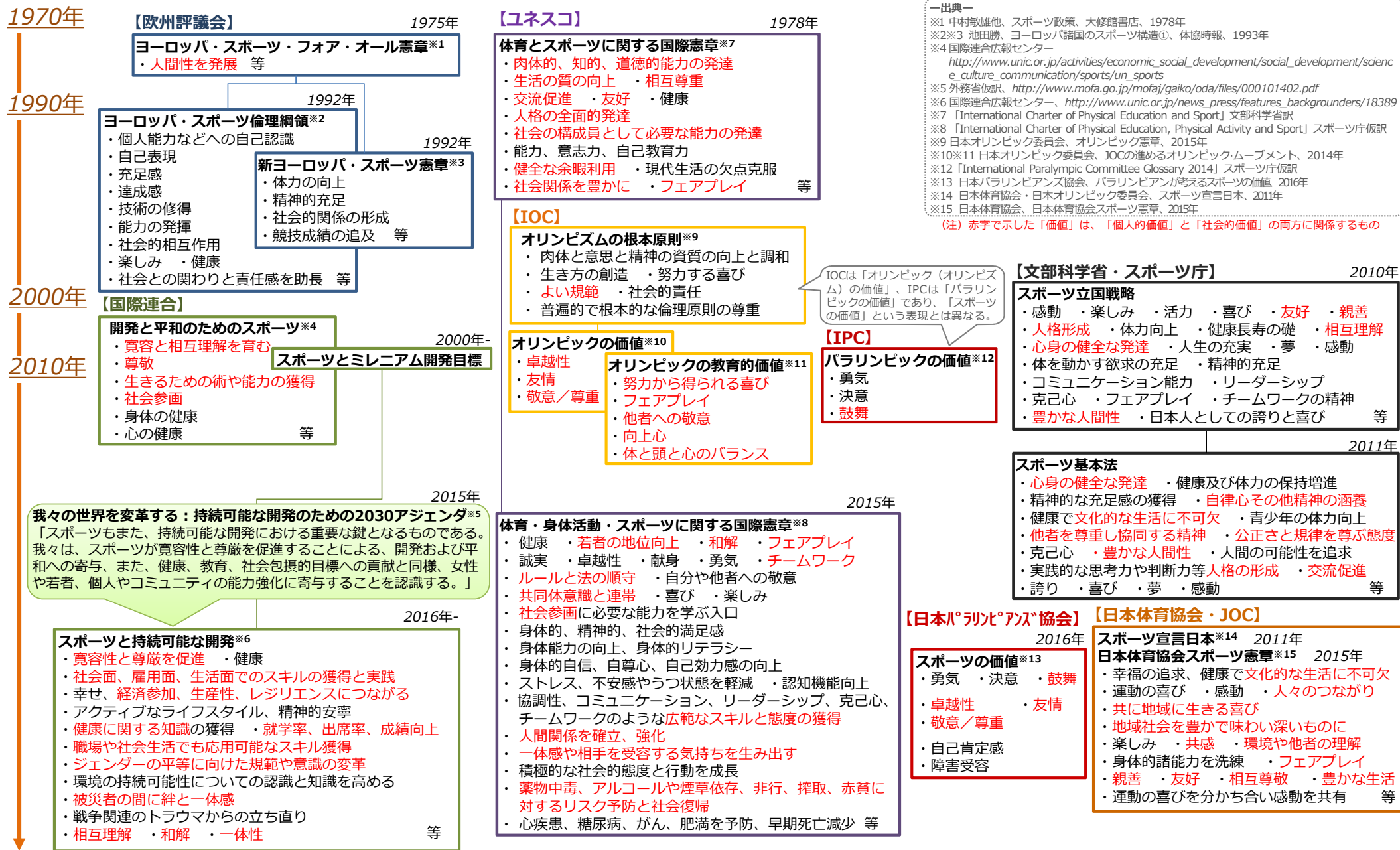




○スポーツに関わる全ての人々が、スポーツを通じて学び、具体化・共有する価値について

国際機関と国内外のスポーツ団体が考える「スポーツの個人的価値」の例



―出典―
 ※1 中村敏雄他、スポーツ政策、大修館書店、1978年
 ※2※3 池田勝、ヨーロッパ諸国のスポーツ構造①、体協時報、1993年
 ※4 国際連合広報センター
http://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/social_development/science_culture_communication/sports/un_sports
 ※5 外務省仮訳、<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/files/000101402.pdf>
 ※6 国際連合広報センター、http://www.unic.or.jp/news_press/features_backgrounders/18389
 ※7 「International Charter of Physical Education and Sport」文部科学省訳
 ※8 「International Charter of Physical Education, Physical Activity and Sport」スポーツ庁仮訳
 ※9 日本オリンピック委員会、オリンピック憲章、2015年
 ※10※11 日本オリンピック委員会、JOCの進めるオリンピックムーブメント、2014年
 ※12 「International Paralympic Committee Glossary 2014」スポーツ庁仮訳
 ※13 日本パラリンピアンズ協会、パラリンピアンが考えるスポーツの価値、2016年
 ※14 日本体育協会・日本オリンピック委員会、スポーツ宣言日本、2011年
 ※15 日本体育協会、日本体育協会スポーツ憲章、2015年

(注) 赤字で示した「価値」は、「個人的価値」と「社会的価値」の両方に関係するもの

2. 「スポーツの社会的価値」についての検討課題



○ 「共生社会」の実現等、スポーツを通じて社会の発展や変革が実現するというスポーツの価値の具体的内容

2020年東京大会等を好機としてスポーツの価値を高めるとともに、大会後のレガシーとして確実に引き継がれ、持続するよう配慮すること

国際機関と国内外のスポーツ団体が考える「スポーツの社会的価値」の例

1970年

1990年

2000年

2010年

【欧州評議会】 1975年

ヨーロッパ・スポーツ・フォア・オール憲章*1

- ・ 人間性を発展 ・ 社会と文化を発展
- ・ 教育、健康、社会事業、都市、地域計画、環境保全、芸術及び余暇対策事業とも関連 等

1992年

ヨーロッパ・スポーツ倫理綱領*2

- ・ 社会を豊かに
- ・ 国家間の親善
- ・ 環境への配慮 等

1992年

新ヨーロッパ・スポーツ憲章*3

- ・ 教育、保健、社会福祉、都市ならびに国土計画、環境、芸術などのレジャー事業の政策とも関係 等

2000年-

【国際連合】

開発と平和のためのスポーツ*4

- ・ 平和と開発の促進 ・ 対話促進
- ・ 寛容と相互理解を育む ・ 尊敬
- ・ 生きるための術や能力をもたらす
- ・ 社会参画
- ・ 男女平等
- ・ 女性のエンパワーメント 等

2000年-

スポーツとミレニアム開発目標

2015年

我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ*5

「スポーツもまた、持続可能な開発における重要な鍵となるものである。我々は、スポーツが寛容性と尊敬を促進することによる、開発および平和への寄与、また、健康、教育、社会包摂的目標への貢献と同様、女性や若者、個人やコミュニティの能力強化に寄与することを認識する。」

2016年-

スポーツと持続可能な開発*6

- ・ 持続可能な開発の鍵 ・ 寛容性と尊敬を促進
- ・ 開発および平和への寄与 ・ 教育 ・ 社会包摂 ・ 貧困をなくす
- ・ 女性や若者、個人のコミュニティの能力強化
- ・ 社会面、雇用面、生活面でのスキル教育
- ・ 経済参加、生産性、レジリエンスにつながる
- ・ 飢餓に関連した食料プログラムや教育を補充 ・ 健康教育ツール
- ・ 職場や社会生活でも応用可能なスキル獲得の機会
- ・ 初等、中等教育以後の学習機会 ・ 就学率、出席率、成績向上
- ・ ジェンダーの平等に向けた規範や意識の変革
- ・ 水衛生の要件や管理に関するメッセージを発信する教育基盤
- ・ エネルギー関連の取組の支援手段
- ・ 雇用可能性の向上、雇用増大 ・ 経済活動を成長させる動機
- ・ 災害後の再建、開発の取組を一部充足
- ・ 途上国と先進国の格差縮小 ・ 不平等の解決 ・ 和解 ・ 一体性
- ・ 生産と消費への責任感を高める ・ 気候課題への対応促進
- ・ 被災者間に絆と一体感を生み出すことで復興プロセスを促進
- ・ 海洋資源の保全と持続可能な利用提唱 ・ 陸上生態系の保全教育
- ・ 復興後の社会再建 ・ 分裂したコミュニティの統合 ・ 相互理解
- ・ 多種多様なパートナーとのネットワーク構築 等

1975年

【ユネスコ】

体育とスポーツに関する国際憲章*7

- ・ 肉体的、知的、道徳的能力の発達 ・ 教育的価値
- ・ 生活の質の向上 ・ 基本的な人間の価値を説くことに貢献
- ・ 人格の全面的発達 ・ 社会の構成員として必要な能力の発達
- ・ 格差の縮小 ・ 諸国民間の平和と友好 ・ 交流促進
- ・ 地球資源の尊重への関心を高める ・ 健全な余暇利用を提供
- ・ 人類の進歩に寄与 ・ 教育と文化の要素 ・ 社会関係を豊かに
- ・ 恒久平和、相互尊重、および友好の維持に貢献し、国際問題解決のための好ましい環境を作り出す ・ フェアプレイ 等

1978年

【IOC】

オリンピズムの根本原則*9

- ・ よい規範という教育的価値
- ・ 普遍的で根本的な倫理原則の尊重
- ・ 人間の尊厳に重きを置き平和な社会
- ・ 人類の調和の取れた発展

IOCは「オリンピック（オリンピズム）の価値」、IPCは「パラリンピックの価値」であり、「スポーツの価値」という表現とは異なる。

オリンピックの価値*10

- ・ 卓越性
- ・ 友情
- ・ 敬意／尊重

オリンピックの教育的価値*11

- ・ 努力から得られる喜び
- ・ フェアプレイ
- ・ 他者への敬意
- ・ 向上心
- ・ 体と頭と心のバランス

【IPC】

パラリンピックの価値*12

- ・ 平等
- ・ 鼓舞

2010年

【文部科学省・スポーツ庁】

スポーツ立国戦略

- ・ 人格形成 ・ 地域活性化 ・ 地域再生 ・ 経済的効果
- ・ 経済成長 ・ 明るく豊かで活力に満ちた社会を形成
- ・ 心身の健全な発達促進 ・ 青少年の育成 ・ 子育て支援
- ・ 豊かな人間性の育成 ・ 地域への一体感や活力醸成
- ・ ソーシャルキャピタルの形成 ・ 人間関係の希薄化解決
- ・ 新たな需要と雇用 ・ 医療・介護費抑制 ・ 相互理解
- ・ 国際的友好、親善、理解 ・ 我が国の存在感を高める
- ・ 地域課題の解決 ・ 国民意識高揚 ・ 社会の活力
- ・ 「新しい公共」を担うコミュニティ拠点の充実と発展 等

2011年

【日本体育協会・JOC】

スポーツ宣言日本*14 2011年

日本体育協会スポーツ憲章*15 2015年

- ・ 文化的な生活に不可欠 ・ フェアプレイ
- ・ 人々のつながり ・ 共に地域に生きる喜び
- ・ 地域社会を豊かで味わい深いものに
- ・ 公正で福祉豊かな地域生活の創造
- ・ 共感能力育成 ・ 環境や他者への理解促進
- ・ 自然と文明の融和を導く ・ 親善 ・ 友好
- ・ 環境と共生の時代のライフスタイルを創造
- ・ 平和への寄与 ・ 豊かな生活と文化の向上
- ・ 人類が一つであることを確認し得る機会
- ・ グローバル課題の解決への寄与
- ・ 相互尊敬 ・ 望ましい社会の実現に貢献

2015年

【日本オリンピック協会】

スポーツの価値*13

- ・ 平等 ・ 鼓舞
- ・ 卓越性 ・ 友情
- ・ 敬意／尊重
- ・ ロールモデル

2015年

【日本オリンピック協会】

体育・身体活動・スポーツに関する国際憲章*8

- ・ 人類の無形遺産の1つ ・ 社会的、経済的発展
- ・ 若者の地位向上 ・ 和解 ・ フェアプレイ ・ 平等
- ・ チームワーク ・ ルールと法の順守 ・ 共同体意識と連帯
- ・ 平和 ・ 共同体意識と連帯 ・ 社会参画
- ・ 人間関係を確立、強化 ・ 広範なスキルと態度の発達
- ・ 一体感や相手を受容する気持ちを生み出す
- ・ 異なる文化的、社会的、経済的背景にある人々を結束
- ・ 社会福祉と社会的機能をサポート
- ・ 薬物中毒、アルコールや煙草依存、非行、搾取、赤貧に対するリスク予防と社会復帰
- ・ 健康関連コストの削減 ・ 生産力向上 ・ 雇用強化
- ・ 社会的一体性を強化 ・ ジェンダー関連の事件防止
- ・ 民主主義、人権、治安、平和と非暴力の文化、対話、紛争解決、寛容、無差別、社会的包摂、性的平等、法治、持続可能性、環境意識、健康、教育、市民社会の役割を強化
- ・ 紛争後や災害後の復興、コミュニティ形成、国の結束、市民社会と国際的な開発目標に貢献 等

【出典】

- *1 中村敏雄他、スポーツ政策、大修館書店、1978年
- *2*3 池田勝、ヨーロッパ諸国のスポーツ構造①、体協時報、1993年
- *4 国際連合広報センター
http://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/social_development/science_culture_communication/sports/un_sports
- *5 外務省仮訳、<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/files/000101402.pdf>
- *6 国際連合広報センター、http://www.unic.or.jp/news_press/features_backgrounders/18389
- *7 「International Charter of Physical Education and Sport」文部科学省訳
- *8 「International Charter of Physical Education, Physical Activity and Sport」スポーツ庁仮訳
- *9 日本オリンピック委員会、オリンピック憲章、2015年
- *10*11 日本オリンピック委員会、IOCの進めるオリンピック・ムーブメント、2014年
- *12 「International Paralympic Committee Glossary 2014」スポーツ庁仮訳
- *13 日本パラリンピアンズ協会、パラリンピアンが考えるスポーツの価値、2016年
- *14 日本体育協会・日本オリンピック委員会、スポーツ宣言日本、2011年
- *15 日本体育協会、日本体育協会スポーツ憲章、2015年

(注) 赤字で示した「価値」は、「個人的価値」と「社会的価値」の両方に関係するもの